

## Q9 運転手不足への対応として、どのような交通施策が適切か「その他」の回答(記述)

- 中心区や郊外であれば路線縮小や減便、山間部であればデマンドバスやタクシーチケットに予算を割く等、地域によって施策を変えるべきであり一概に言えない。
- 路面電車は線路の上を動くのでなんとか自動運転に出来ないか。
- 利用者の多いところや時間は本数は現状維持。利用の少ない場所や時間は減らす。  
都市部で開発が進んでいるような、自動運転化に取り組む。利用者が何処が少ないかなどをAIなどを駆使して、分析して、減便する。市民、県民にマイカー購入補助、普通自動車免許取得補助などに財源を回し、公共交通に頼らなくても良い市民生活作りを考えるなど、民意を問い、抜本的に改革が必要だと思います。
- 運行会社への補助を増やす
- Uberタクシーのような、民間人がタクシーの代わりになる  
私は旅行以外、本当に使わなくて基本車移動のため、軽い気持ちでは言いにくい。よく使っている人の答えを知りたいです。
- 県外の旅行先では、乗り継ぎで移動したことがあり、あって良かったと助かったことは何度もあります。まあ観光地のため、あったのかもしれませんが。
- 多少高くても日常的にツアーを組んでしまうと良いかと思います。
- 基本1の方針で、路線の各停留所へのアクセスをタクシー等で可能にする仕組みを考える
- バス路線が分かりづらいので、もっとお客の行きたい場所路線を考えてほしい。薊野から万々の方に行くにはイオンで乗り換えしなくてはならないのも面倒。
- 自動運転バスの導入
- 外国人やシニアの活用推進
- 自動運転等、技術の活用、併せて法整備
- 運転手の待遇改善
- もう少し小型の便を増やす。高校のバスなどと連携をとったり、企業とタイアップなど。
- 出来るだけ、現状維持。  
高齢者の事を考えると、1を選ばず…。大変なことと思いますが、何とか今利用している方々の調査をして、少し遠回りになっても繋げられる路線と路線はないか、見直す余地はないか、方法は考え尽くされているか、本当に大変なことと思いますが、みんながよりよく利用できるよう調査をしていただきたいと思います。
- 利用人数や時間帯を見て、デマンド型事業の拡張も良いかとおもいます。ただ、デマンド型タクシーの広報をもっとした方が良いです。当方の住んでいる所も南国市や医大や近くのJR駅まで行く便がありますが(結構便利です)知らない人が多いです。
- 電車の路線を高知駅からイオン高知まで伸ばす  
必要な方が自由に利用できるほうがいいけれど、利用者がいないと経営としては成り立たないと思うので、利用者の多い
- 路線はそのままで、利用者が少ない場所はデマンド型乗り合いタクシーなどピンポイントで利用できる方法があってもいいのかもしれない。
- 外国人運転手採用。嘱託(退職後の職員)の方々に短時間での勤務が可能なシステムを作る。自動運転バスを随時導入。
- 乗りたいときに、乗りたい人だけが呼べるようにする。どこかの県か地域で実施済み デマンドかな
- タクシーが乗り合いのようにして乗れるようになったら良いと思う
- 運転手のいない自動運転
- バスと路面電車の競合区域は電車のみとする
- バスの運行本数がかかなり減っていると思う。残念だけど、それだけ利用者がいないのだから、仕方がないとは思っている。
- 将来を見越してもう少し走行ルートを拡張するとか使いやすくしてもらえれば、使用頻度も増えるのではないかと思います
- AIなどの先端技術を使い自動運転バス、電車、 AIロボットの車掌を導入